

宮崎大学農学部

～GAP教育を通じ、県内外のGAP普及に貢献～

<基本情報>

所在地:宮崎県宮崎市

構成員28名

<認証農場概要>

木花フィールド(農場)

栽培面積:6.35ha

認証品目:JGAP(青果物及び穀物)18品目

住吉フィールド(牧場)

飼養畜種:乳用牛、肉用牛、豚

認証品目:GLOBALG.A.P.牛、ミルク



<人材育成の取り組み>

GAPを中心とした実践型教育プログラムを開発し、「食の安全と品質向上」「生産環境保全」「農業経営と販売管理」「労働安全」の4分野を体系的に学習



- ① 同大学の教育カリキュラムとして位置付け、学生を対象としたGAP指導者育成を実施し、225名がJGAP指導員資格を取得(H24～H29)
- ② プログラム修了生のうち、20余名が農業関連企業や団体でGAPに携わる(H26～H28)
- ③ 地域の農業者・農業関係者だけでなく、他都道府県の教育関係機関等の視察研修等を年間60回以上、700名以上を受け入れ

<GAPの取組状況>

平成23年12月 大学では国内初となるJGAP(青果物)認証を取得

平成24年12月 JGAP(穀類)認証を取得

平成25年11月 GLOBALG.A.P.認証(RICE)を取得

平成26年7月 国内唯一となる畜産部門でのGLOBALG.A.P.認証を取得

平成28年 JGAP家畜・畜産物の基準書策定に関与(技術委員会畜産物部会委員)

<地域のリーダーとしての活動>

学生に向けたGAP教育だけではなく、宮崎県と協力し、農業法人、宮崎県職員、JA職員を対象(117回、延べ1,500名強)としたGAP研修を実施。(H23～H29)

GAP認証取得の支援や多くのGAP指導者の育成、「ひなたGAP」の策定に関わるなど、宮崎県におけるGAP普及体制の構築に貢献